

経堂地区防災計画

[令和3年修正]

経堂地区

【経堂地区防災計画作成団体】

(順不同)

経堂1丁目町会	経堂北町会
経堂南町会	宮坂1・2丁目町会
宮坂3丁目町会	桜丘1丁目町会
桜丘町会	桜丘南町会
桜丘小学校 PTA・おやじの会	世田谷小学校 PTA・おやじの会
経堂小学校 PTA・おやじの会	笹原小学校 PTA・おやじの会
桜丘中学校 PTA・おやじの会	世田谷小学校地域ネットいぶき
経堂地区民生委員・児童委員協議会	赤十字奉仕団経堂分団
経堂農大通り商店街振興組合	経堂商店街振興組合
千歳船橋参商会商店街振興組合	経堂本町会
経堂西通り商店会	経堂南口平和通会
経堂シンフォニー商店会	桜丘三丁目商店会
経堂あんしんすこやかセンター	ほほえみ経堂
世田谷地域社会福祉協議会	世田谷消防団第6分団・第16分団
東京農業大学	スポーツクラブ&スパ ルネサンス経堂

目 次

1 経堂地区の特性	経堂-1(-106-)
(1) 自然特性	経堂-1(-106-)
(2) 社会特性	経堂-2(-107-)
(3) 地域危険度	経堂-4(-109-)
(4) 被害想定	経堂-5(-110-)
(5) 防災資源一覧	経堂-8(-113-)
(6) 防災資源マップ	経堂-9(-114-)
2 各団体の防災活動～現在の取組状況～	経堂-10(-115-)
3 経堂地区の課題と取り組み	経堂-14(-119-)
(1) 住民同士のつながり、ネットワークの拡充	経堂-14(-119-)
(2) 情報不足・情報が行き届いていない	経堂-16(-121-)
(3) 逃げなくてもいい安全なまちをつくるために	経堂-18(-123-)

1. 経堂地区の特性

令和2年度 世田谷区危機管理部災害対策課

(1)自然特性

面積	2.92 Km ²	最高標高	52.8 m	最低標高	33.4 m
----	----------------------	------	--------	------	--------

位置



標高・急傾斜地・土砂災害危険箇所

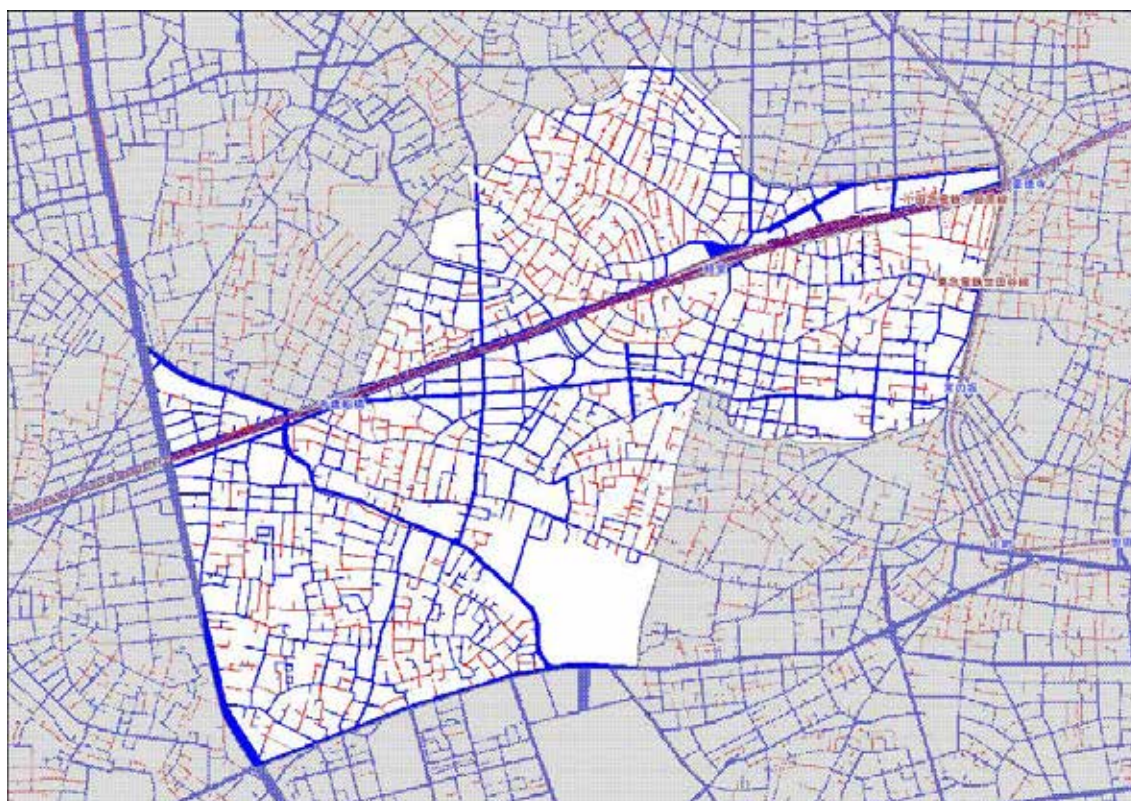


52000 土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域
急傾斜地危険度
A: 危険性が高い
B: 危険性がある
C: 危険性が低い
標高(m)
55 - 60
50 - 55
45 - 50
40 - 45
35 - 40
30 - 35
25 - 30
20 - 25
15 - 20
10 - 15
5 - 10
0 - 5

(2)社会特性

人口	51,420 人	細街路率	33.5 %
世帯数	28,457 世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度	95.6 棟/Km ²
1世帯あたり	1.81 人	耐火率(建築面積ベース)	61.5 %
若年層数(15才未満)	5,683 人	土地利用(宅地)	72.2 %
若年層率(15才未満)	11.1 %	土地利用(宅地以外)	27.8 %
高齢者数(65才以上)	10,630 人	鉄道駅	小田急小田原線豪徳寺駅 経堂駅 千歳船橋駅 東急世田谷線 宮の坂駅
高齢者率(65才以上)	20.7 %		
昼間の人口	49,718 人	産業	商業 77.0 %
夜間の人口	50,198 人		工業 8.1 %
昼夜間人口比	0.99 -		農業 14.9 %
町会・自治会数	8 -		

道路・公共交通機関



(3)地域危険度

建物倒壊危険度



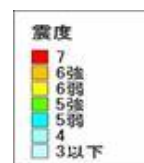
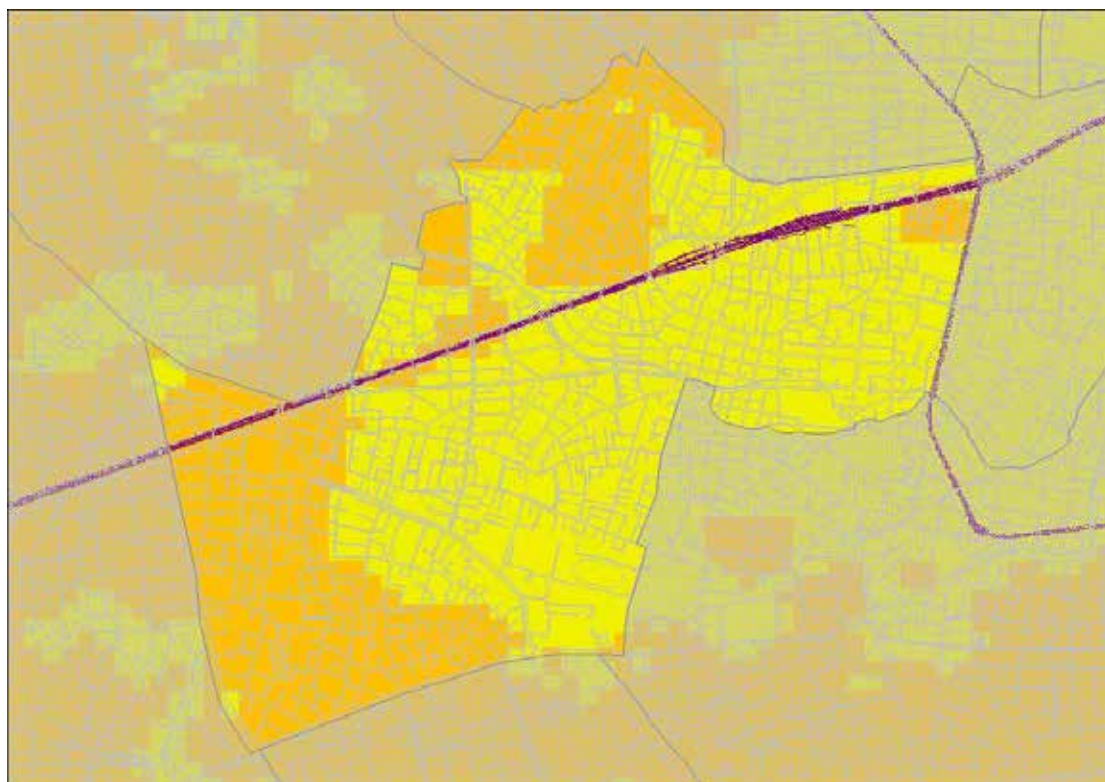
火災危険度



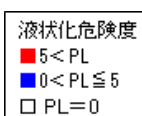
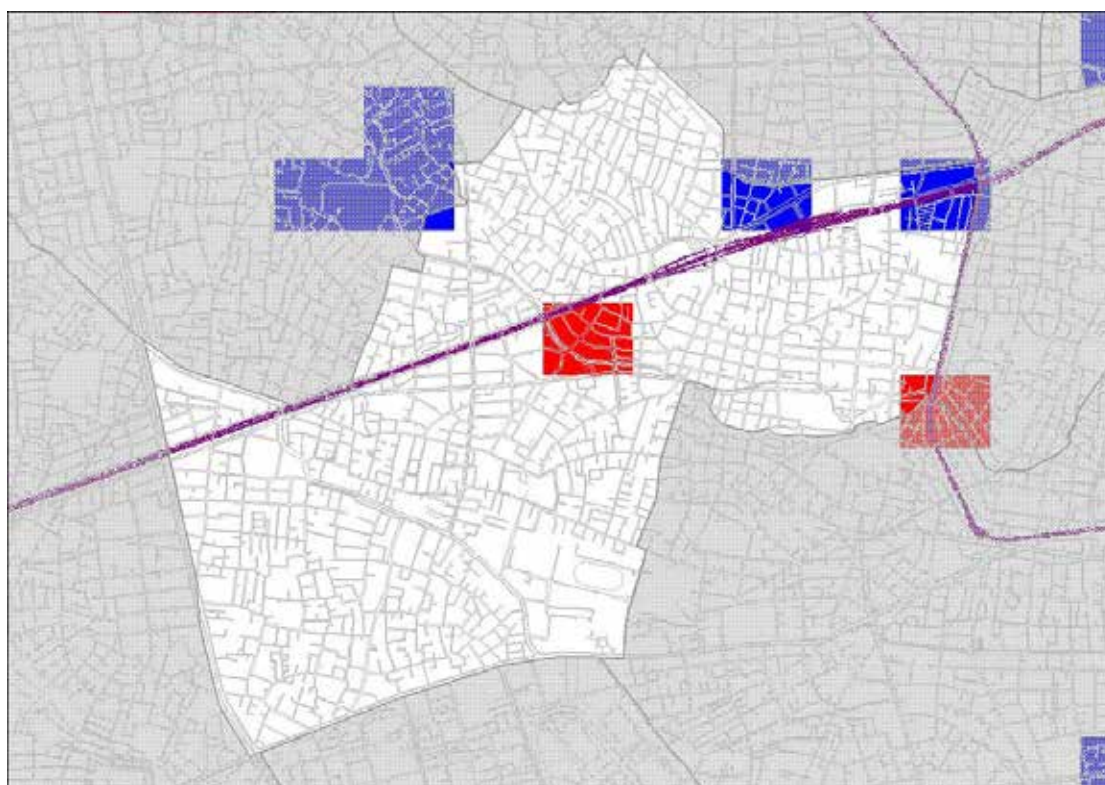
(4)被害想定

全壊棟数	259 棟	死者	39 人
半壊棟数	992 棟	負傷者	445 人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	1,461 棟	うち重傷者	82 人

震度分布



液状化分布



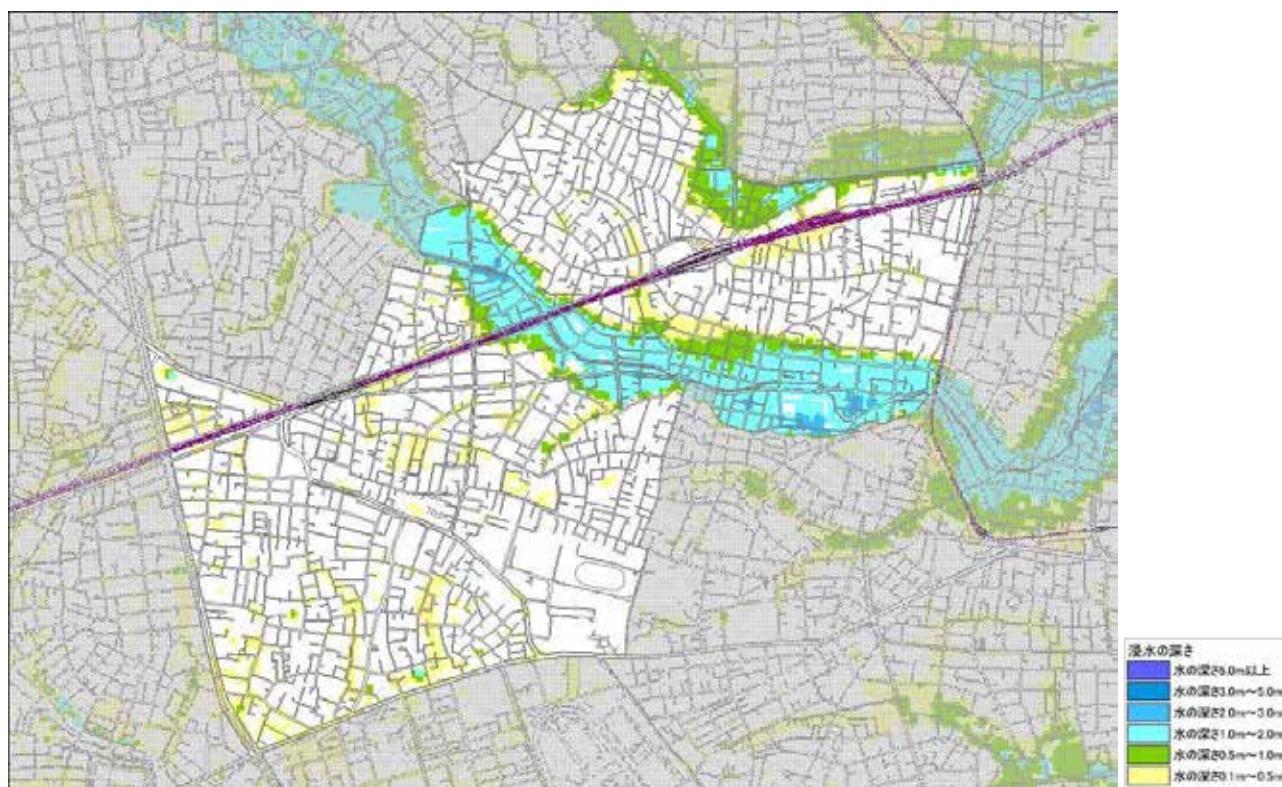
(4)被害想定

被害棟数分布



(4) 被害想定

浸水想定（内水氾濫・中小河川洪水版）



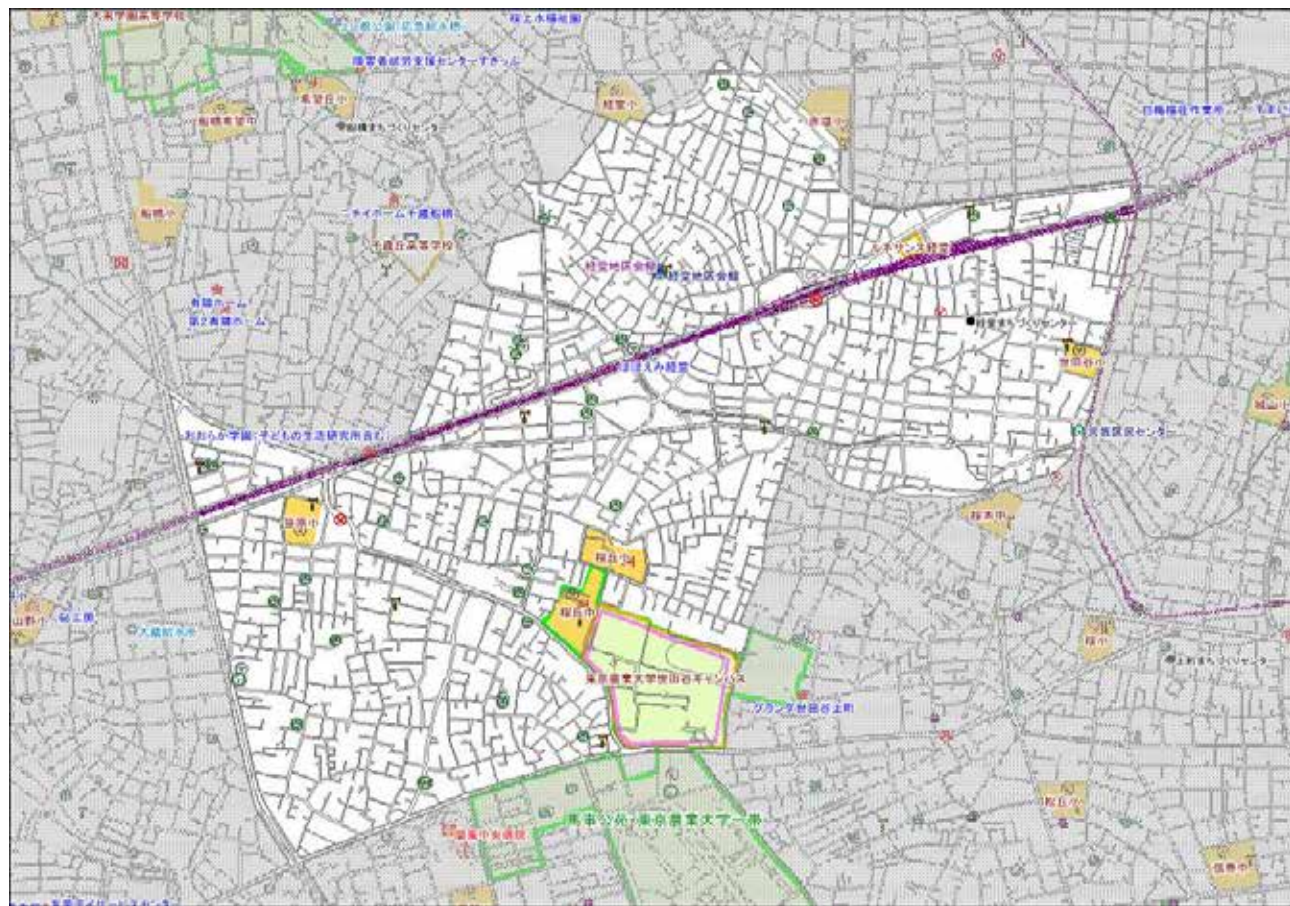
浸水想定（多摩川洪水版）



(5)防災資源一覧

広域避難場所	馬事公苑・東京農業大学一帯				
一時集合所	経堂大橋公園 烏山川緑道(中村橋) 石仏公園 経堂小学校 経堂4丁目児童遊園 南台公園 南公園 桜丘小学校 世田谷八幡宮駐車場 経堂出張所・経堂まちづくりセンター 世田谷小学校 桜木中学校 山下西公園 桜丘中学校 桜丘3丁目児童遊園 西原公園 稲荷森稲荷神社 桜丘こぶし公園 笹原小学校 弁天公園 宇山稲荷神社 桜丘5丁目公園 桜丘すみれば庭園 桜樹広場				
指定避難所	笹原小学校 桜丘小学校 桜丘中学校 世田谷小学校 経堂小学校				
予備避難所	東京農業大学世田谷キャンパス ルネサンス経堂				
母子避難所	東京農業大学世田谷キャンパス				
福祉避難所(高齢者)					
福祉避難所(障害者)	ほほえみ経堂				
水害時避難所(第1次)		野川・仙川洪水時避難所			
水害時避難所(第2次)	宮坂区民センター 経堂地区会館				
医療救護所	桜丘中学校 桜丘小学校				
東京都災害拠点病院					
東京都災害拠点連携病院					
緊急医療救護所					
一時滞在施設					
帰宅支援ステーション		帰宅困難者支援施設		1	ヶ所
ボランティアマッチングセンター					
マンホールトイレ	12	防災無線塔	10	緑地	2
輸送拠点					
給水拠点					
広域用防災倉庫					
土のうステーション					
警察署・交番	桜丘交番 経堂駅前交番				
消防署・出張所	宮の坂出張所				

(6)防災資源マップ



- | | |
|--------------------|-------------------|
| ○ 総合支所 | ■ 広域避難場所 |
| ● まちづくりセンター | ■ 指定避難所 |
| ⊗ セタがや災害ボランティアセンター | ■ 予備避難所 |
| Ⓔ 広域防災倉庫 | ■ 母子避難所 |
| ○ 給水拠点 | ★ 福祉避難所(高齢者) |
| ⚡ 防災無線塔 | ☆ 福祉避難所(障害者) |
| ⊗ マンホールトイレ | Ⓜ 水害時避難所(第1次) |
| ■ 土のうステーション | Ⓜ 水害時避難所(第2次) |
| Ⓜ 警察署 | ◆ 野川・仙川洪水時避難所 |
| Ⓜ 交番 | Ⓜ 医療救護所 |
| Ⓜ 消防署 | Ⓜ 東京都災害拠点病院 |
| Ⓜ 消防出張所 | Ⓜ 東京都災害拠点連携病院 |
| Ⓜ 身近な広場 | Ⓜ 緊急医療救護所 |
| Ⓜ 公園 | Ⓜ 一時滞在施設 |
| Ⓜ 緑地 | Ⓜ 指定支援ステーション |
| | Ⓜ 帰宅困難者支援施設 |
| | Ⓜ ボランティアマッチングセンター |
| | Ⓜ 輸送拠点等 |

出典

世田谷区土砂災害ハザードマップ 令和元年9月

世田谷区の町丁別人口と世帯数 令和2年4月1日現在

町丁別世帯人口(推計) 平成27年国勢調査 東京都 平成27年10月

平成28年度土地利用現況調査データ 平成29年3月

首都直下地震等による東京の被害想定報告書 東京都防災会議 平成24年4月18日公表

世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ 令和2年9月

世田谷区防災マップデータ 令和2年2月

2 各団体の防災活動～現在の取組状況～

団体名	防災担当者数	防災に関する会議			防災活動、資機材配備等の実施		消火資機材の配備						消火資機材の配備				防災訓練等の実施									
		実施している	実施していない	会議名	(実施回数) 年	実施している	実施していない	配備している	配備していない	スタンバイパイプ		D型ポンプ		消火器		その他		実施している	実施していない	防災訓練		救命救急講習会		その他		
										数量	場所	数量	場所	数量	場所	名称	場所			回数	実施場所	回数	実施場所	訓練名称	実施場所	
経堂1丁目町会	20	○		避難所訓練 発災対応	3		○		○									○		1	桜丘小学校、 経堂駅前	1	経堂駅前			
経堂北町会	28	○		避難所運営訓練 会議	3 5	○		○		2	町会員宅	1	経堂地区会館						○		2	経堂小学校 その他				
経堂南町会	2	○		避難所運営訓練 会議 D型ポンプ操作 訓練時	1 10	○		○		1	町内倉庫(経堂4 丁目児童遊園)	1	町内倉庫(経堂 4丁目児童遊園)						○		2	桜丘小学校 経堂4丁目児童 遊園 南公園	1	経堂南地区 会館大広間		
宮坂1・2丁目町会	30	○		町会理事会	2	○		○		4	世田谷小学校、 ねむの木公園訓練、 町会長宅	2	世田谷小学校、 ねむの木公園						○		2	世田谷小学校	1	世田谷小学校	施設見学	防災施設 (年1回)
宮坂3丁目町会		○		宮坂3丁目町会 役員会	12	○		○		4	町会役員宅	1	町会防災倉庫						○		2	経堂小学校 町内児童公園				
桜丘1丁目町会	5		○				○	○		3	町内3カ所								○		1	町会内				
桜丘町会	16	○		災害時支援隊	3	○		○		4	桜樹広場第1防火倉庫(2)、桜樹広場内(1)、都営桜丘5丁目アパート東側(1)	1	西原公園内						○		2	笹原小学校 桜丘中学校			まちかど防災訓練	町内(年2回)
桜丘南町会	8		○			○		○		3	宇山神社公会堂下倉庫外2箇所			9	南町会宇山神社公会堂下倉庫				○		3	笹原小学校 宇山神社	2		施設見学会 体験(1年に1回)	バスにて色々な施設へ
東京農業大学		○		防火防災対策委員会	1～2	○		○		2				700		屋内消火栓			○		15		3			
経堂農大通り商店街振興組合	13	○		理事会	3	○		○		1	区駅前南自転車場			6	商店街内				○		1	駅前ロータリー				
経堂商店街振興組合	9	○		商店街理事会	12	○		○		1	スタンドパイプ倉庫			4	各階フロア				○		1	商店街				
経堂本町会	3	○		役員会	3	○		○		1	経堂1-18-12								○		1	経堂駅 経堂1-17-12				
経堂西通り商店会	5		○				○	○											○							
経堂南口平和通会			○				○												○							
経堂すずらん通り商店街防災部	9	○		理事会	1	○				1	1階裏口	○		4	各階エレベーター前	AED	1階エントランス	○		1	会館前	1	会館地下			
経堂セントラルマンション管理組合防災本部	9	○		防災会議	2	○		○						21	各階エレベーター前、その他適宜				○					防災会議	会議室	

団体名	防災マップ								防災マップ		防災士等の数			災害時連携・協定 (区を除く)				避難行動要 支援者協定		避難行動要支援者対策				連絡手段の確保				
	作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	掲載情報				掲載情報		把握していない 防災士	把握していない 地域防災リーダー	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先 ・内容	協定先 ・内容	締結している	検討中である	予定はない	見守り活動	要支援者行動 体験	その他	特に実 施しない	簡易無線	作成・整備	その他	
					広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓																		その他
経堂1丁目町会			○								1	1		○							○							
経堂北町会	○				○		○	○		○	2			○		宮坂3丁目町会					○	○	班長による要援護者の存在の把握、状況の把握。				○	
経堂南町会			○								1	1	○		○					○				○				特に訓練は無し
宮坂1・2丁目町会	○					○	○	○	○	○	4	4		○				○			○	○	75歳以上敬老訪問により理事把握			○	○	無線局登録5機 簡易型 4機 ショルダー型コンパクトメガホンx1 フリーハンド型拡声器x1、ポータブルアンプ一式x1
宮坂3丁目町会	○					○	○	○	○	○	1	0		○		経堂北町会		○					地震等の時安否確認を行う			○	○	
桜丘1丁目町会			○									○	1		○					○	○				○			
桜丘町会	○					○	○	○	○	○	AED	3	2		○	○	桜丘南町会 東京農業大学 (ボクシング部、野球部)			○	○	町会加入世帯で、75才以上の障害のある方で希望者					○	
桜丘南町会		○				○	○		○	○			○	○		桜丘町会		○						○				最初に災害本部委員に連絡をする
東京農業大学				○								○		○	○		町会		○					○	○	○		
経堂農大通り商店街振興組合			○								3	0			○												○	
経堂商店街振興組合				○								○		○	○	商店街、町会、小学校								○		○		
経堂本町会			○									○			○					○				○				
経堂西通り商店会				○								○			○										○			
経堂南口平和通会					○							○		○		○									○			
経堂すすらん通り商店街防災部					○							○		○	○	世田谷区商店街連合会				○				○				
経堂セントラルマンション管理組合防災本部					○							○		○		○				○				○				

団体名	防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)				救出救助に係る資機材の配備																	食糧等の備蓄						
	策定済み	策定中	検討中	予定なし	名称	配備していない	配備している	リアカー	はしご	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット	バール	スコップ	手おのこぎり	ジャッキ	両口ハンマー	ツルハシ	その他	保管場所	備蓄していない	備蓄している	アルファ米	ビスケット・乾パン	おかゆ	飲料水
経堂1丁目町会			○			○	1						20		○	○			○	○		町会倉庫	○				○	
経堂北町会			○			○	○			1	1	2	28	1							ブルーシート ナイロンロープ 90リットルバケツ、はさみ 断裂防止軍手、業務用タオル	町会倉庫	○				350	
経堂南町会			○		世田谷区防災マニュアルによる	○	1			1	2	1	15	1	1	5		3	1		町会倉庫(経堂4丁目児童遊園及び南台公園)		○			100		60
宮坂1・2丁目町会			○			○	2				4	2	100	3	○	○	○	○	○	○	一輪車x2 車椅子x1 エンジン チェンソーx1 油圧ジャッキ ツウウェイキャリーx2 ハロゲン 投光機x3 4 グループx10 ゴーグルx10 防粉マスクx60 救助用ロープx1 らくらく「おんぶ」x4	町会長宅倉庫他		○				
宮坂3丁目町会			○			○	2				2	1	25	1							無線機4	宮坂3丁目倉庫	○					
桜丘1丁目町会			○			○	1				2		30	3									○					
桜丘町会			○			○	1			4	2	1	10		2				2	1	※ヘルメットは役員各自1個自宅に配備	第1防災倉庫(桜樹広場) 第2防災倉庫(西原公園) 稲荷神社 境内倉庫		○	10kg	60	50	384(500ml)
桜丘南町会			○			○		2	10	2	2	70		2	10		5	2	1		チェンソー エンジンカッター	桜丘南町会宇山神社 公会堂下倉庫 神社広場防災倉庫		○				
東京農業大学	○				防災業務計画 災害対策本部運営計画 災害時対応マニュアル	○		○	○		8				○	○	○	○						○	○	○	○	○
経堂農大通り商店街振興組合			○			○				2		1	13	○	1			1					○					
経堂商店街振興組合				○		○	2	1	2			1	10	1							チェンソー	倉庫(1階)、地下備蓄倉庫		○	300	240		600
経堂本町会			○			○				2			10									経堂1-17-12 斉藤たばこ店	○					
経堂西通り商店会				○					○	○													○					
経堂南口平和通会				○		○																	○					
経堂すずらん通り商店街防災部				○		○	○	○	○				○	○	○	○		○		○		地下倉庫 1F倉庫		○	○	○	○	○
経堂セントラルマンション管理組合防災本部				○		○	○				○				○	○	○	○	○	○			○					

団体名	食糧等の備蓄											その他の防災活動
	缶詰類	レトルト食品類	カセットコンロ	災害用食料	非常用トイレ	照明	発電機	給水タンク	その他	保管場所	備蓄品配布先	
経堂1丁目町会	○	○		○						会長宅	経堂1丁目町会住民	
経堂北町会	350	350		350					手動式浄水器、トイレトペーパー 簡易寝袋、こみ袋、尿パッド クローボックス		食料品は28名の班長宅に、12食ずつ分散。他は町会の防災用備蓄倉庫。	「経堂小学校おやじの会」と協力し、夏に経堂小学校在校生とその保護者を対象とした宿泊訓練を行っている。 D型ポンプによる消火訓練を実施。
経堂南町会	24	422					1			南台公園倉庫		D型ポンプによる消化訓練を月1回実施。 毎年「歳末夜回り」を2日実施。
宮坂1・2丁目町会						10	3	220	水中ポンプx1 石油ストーブx3 工場扇x2 スポットクレーンx2 パーテーションx1 ガソリン缶石油缶x5 かまどセットx2 鍋セットなどx4 食器セットなどx3 燗薪25kg	世田谷小学校防災倉庫(町会用) 町会長宅倉庫		D型ポンプ及びスタンバイブ年2回点検及び訓練
宮坂3丁目町会							2		折りたたみ式リヤカー2、床クッションマット10、テント大中各2、簡易トイレ、炊き出しかまど、鍋、ガスコンロ	町内防災倉庫		町内各ブロック(各班)毎にスタンドパイプを使用した消火訓練を実施している。
桜丘1丁目町会												
桜丘町会		110	2	400		2	1	5	ロープ2巻	第1防災倉庫(桜樹広場) 第2防災倉庫(西原公園) 稲荷神社境内倉庫	町内住民	10月～12月 町内夜間パトロール(月2～4回) 12月26日～30日 町内夜警(21時～翌1時まで)
桜丘南町会						2			毛布3枚 座布団60枚位	南町会宇山神社公会堂下倉庫		
東京農業大学					○		3	○	毛布x500 ダンカx10 LHD照明機具 中型発電機x3 他			
経堂農大通り商店街振興組合												
経堂商店街振興組合	150	300	10			74	1	100	大人用紙おむつ 子供用紙おむつ 石油ストーブ ラジオ 蓄電気 蓄電池 マンホール対応型トイレ 毛布x50 エマージェンシーブランケットx150 トイレトペーパー	各階ホール、備蓄倉庫	組合員	
経堂本町会										検討中		
経堂西通り商店会												当商店会は飲食店が多く通りの店が大多数のため会としての防災対策が進んでいないのが現状です。今後は町会などの協力をお願いし、徐々に対策をしていく考えています。
経堂南口平和通会												
経堂すずらん通り商店街防災部	○	○	○	○	○	○	○	○		地下倉庫	組合員	
経堂セントラルマンション管理組合防災本部												

3 経堂地区の課題と取組み

課題1 住民同士のつながり、ネットワークの拡充

■現状(意見)

○町会同士や商店街との連携

- ・町会と商店会のつながりをより深め合う。町会・商店会内で災害発生直後の役割分担については協議していきたい。
- ・近隣住民同士の連携が不可欠。お隣同士は仲良く情報交換しておきたい。
- ・町会や商店会への加入を促進していくべき
- ・災害時〇〇提供の店等商店会の物資提供の仕組みづくりが必要。
- ・都営住宅で防災訓練を行なっているが参加率は比較的高い。より狭いコミュニティで訓練することを広げていくのもよい。
- ・これからは近隣町会で連携することが大事。采配するリーダーが必要。
- ・町会が組織する防災組織が基本になる。他まで手がまわらない。一時集合所の運営方法を整理する必要がある。

○避難行動要支援者の安否確認

- ・高齢者や障害者について町会だけでは把握が難しい。
- ・避難行動要支援者の把握と安否確認をどのようにするか具体的に決まっていない。
- ・安否確認には個人情報への壁がある。例えば、障害者施設と町会が連携することも現時点ではまだできていない。
- ・要支援者への取り組みは、町会だけではなく、あんしんすこやかセンター、学校・保護者の会(PTA やおやじの会)等との連携が必要となるのでは。
- ・効果的な支援を行うためには、要支援者自身が支援内容の把握と地域とのつながりの必要性の認識を深めてもらう必要がある。

○小・中学校保護者等若い世代への働きかけ

- ・災害時のことに関心を持ってもらい、人的ネットワークを広げていく必要がある。
- ・中学生と一緒に訓練することは、大人になっても関心を持ってもらえるのでよい。
- ・魅力がないと参加してくれないので中高生のニーズを聞きながら、生徒と保護者を巻き込んだ訓練をすべき。
- ・避難所運営訓練や防災訓練へのおやじの会の参加を呼びかける。この日を次につながるきっかけづくりのチャンスとする。
- ・小学校の保護者の中には自分の町会を知らない人たちがいるため周知が必要。
- ・人集めが課題。消防団には最近若い人が入ってきているように、ただ待っていても来ないので呼びかけないと始まらない。

■地区としての取組みの方向性

- ・イベントを続けて地域の団体の顔が見える関係をつくる。

- ・町会内のブロックや都営住宅等小さいコミュニティでの防災訓練を実施する。
- ・地域のイベントやお祭りやセットで防災訓練を行う等参加者が楽しく訓練に参加できるような工夫をする。
- ・東京農業大学との連携について、行事に声をかけるなど、引き続き関係性を深めるとともに学生に関心を持ってもらう。
- ・小さいコミュニティでのつながりを大切にする。
- ・地区内の私立学校や神社・寺院・コンビニエンスストア・商業施設・スポーツ施設等に災害時の協力を呼びかける。
- ・特に避難行動要支援者の対応については、地区内のあんしんすこやかセンター、社会福祉協議会、民生委員との連携を深める。
- ・あんしんすこやかセンターを通じ、地区内の介護事業者との連携を深めていく。
- ・災害時の避難行動要支援者対応の流れ、情報公開のルールを構築する。
- ・地域内で災害時の連携についての話し合う場を設ける。

■各団体の今後の取組みの方向性

- ・経堂1丁目町会、経堂農大通り商店街、経堂本町会と経堂南口平和通会は、今後一緒に防災訓練を行うなど、つながりをより深め合う。
- ・経堂北町会と宮坂3丁目町会は地域の商店街や団体と協力して今後一緒にイベントを行い、顔が見える関係を作っていけるよう連携していく。
- ・経堂小の避難所運営訓練や防災訓練では子どもだけでなく、大人にも関心を持ってもらう工夫をしていく。また、地域住民に向け両町会合同で発行した経堂小避難所運営マニュアル冊子版を今後も共有し更新していく他、円滑な避難所運営や住民への啓発活動を共同で検討していく。
- ・経堂北町会とほほえみ経堂はお互いの会議やイベントに参加し、助け合える関係を今後も継続する。
- ・経堂南町会は安心・安全パトロールを継続して行う。
- ・経堂南町会は、経堂1丁目町会と一緒に一時集合所から避難所となる桜丘小へ避難する訓練と避難所運営訓練を継続する。
- ・経堂南町会では、地域のイベントやお祭りやセットで参加者が楽しく防災訓練に参加できるよう取り組む。
- ・宮坂1・2丁目町会は世田谷小と全児童が参加する訓練を今後も継続して行う。
- ・世田谷小避難所運営訓練へのPTAの参加者を増やす。
- ・経堂本町会は、AEDの操作訓練を今後も実施していく。

- ・宮坂1・2丁目町会は、避難行動要支援者支援協定を締結しており、今後も継続して要支援者を確認し、民生委員と連携していく。
- ・宮坂1・2丁目町会は町会への加入促進に取り組んでいく。
- ・桜丘町会では地域の団体へ災害時要援護者支援隊の登録を呼びかける
- ・桜丘町会では笹原小保護者と連携し互いに防災訓練に参加するなど、相互協力を深める。
- ・桜丘町会では避難行動要支援者へ配付する「さくらカード」を災害時の支え合いに活用していく。
- ・桜丘の3町会では小さい単位での防災訓練を実施し、参加者を増やし、知り合う機会にしていく。
- ・桜丘の3町会は、覚書を交わした東京農業大学と引き続き連携し、運動部の学生と地域で日頃から交流し関心を持ってもらうことで、災害時に支え合える関係を築く。
- ・桜丘地区では、イベントで防災訓練も実施するなど、楽しく・ふれあい・知り合えるよう工夫する。
- ・桜丘南町会では東京農業大学と連携した秋の防災訓練を継続する。
- ・桜丘南町会では夏休みラジオ体操最終日に消防署の指導で実施する親子での消火器訓練を継続していく。
- ・桜丘南町会では毎年実施する他県の防災施設の見学等を行う研修会を25年継続しており、今後も継続することで防災意識向上と初参加者との交流など地域住民の関係性を深めていく。
- ・桜丘南町会では、引き続きお祭りや盆踊り等のイベント実施により、地域の多くの方と知り合い、ふれ合える場を作っていく。また、今後定期の町会パトロールを検討する。
- ・桜丘南町会は今後、避難行動要支援者支援協定の締結に向け検討を行う。
- ・笹原小学校おやじの会では、小学校を会場として実施する防災学習合宿等を通じ、児童・保護者に防災知識・意識の向上を図っていく。

課題2 情報不足・情報が行き届いていない

■現状(意見)

○情報不足

- ・情報については、町会に入っていない人も多く、行き届かない。
- ・近所付き合いの希薄化が進み地域の人、情報をよく知らない。
- ・訓練に参加している人は意識が高いが、一方で避難所に行けば助かっている人たちが多く住民の意識改革が必要では。

○防災マップの作成・まち歩き

- ・町会で防災マップを作成し、防火水槽の場所やスタンドパイプ等防災資源を把握している。
- ・道路の安全確認が非常に重要である。今後、防災マップを作成し、まちを歩いてみることも必要。
- ・防災についてもっと精通しないといけない。また防災組織の強化をしないと意味がない。

○集合住宅への働きかけ

- ・集合住宅にどんな人が住んでいるか分からない。
- ・集合住宅の安否確認、情報収集、防災組織の強化が課題
- ・大型マンションとの連携が薄いため、マンションで防災訓練が実施される際、町会にも連絡してもらい、町会員も訓練に参加するようになるという。

■地区としての取組みの方向性

- ・子育て世代等が参加の多いイベントのときに防災訓練等をPRする。
- ・小学校の児童・PTA、町会でまち歩きを行い、地域の課題を再確認する等その過程を大切にしながら防災マップを作成する。
- ・防災マップを3年ごとに見直すなど、地域への浸透を目指す。
- ・新しく開発される地区やマンションは建築中から町会加入について販売会社に加入促進の協力を求める。
- ・避難所運営訓練の案内を集合住宅にも配布させてもらうなど、防災意識の醸成を拡げていく。
- ・新たに指定された水害時の避難所や災害時の情報手段、また、新型コロナウイルスにも関連した在宅避難の推進等、防災関連情報について地域住民への周知を図る。

■各団体の今後の取組みの方向性

- ・経堂 1 丁目町会は、今後も町会独自のニュースを発行し、広報板や回覧で情報を発信していく。
- ・経堂北町会と宮坂3丁目町会で一緒に作成した防災マップを 3 年ごとに見直す。また、町会ホームページ等により防災関連の情報発信を行う。
- ・宮坂 1・2 丁目町会は、地域特性や防災資源を確認し、地域の課題を認識し作成した防災マップを活用して地域住民や世田谷小の児童・PTAとまち歩きを行い、自ら考える意識を持てるよう防災学習に役立てる。
- ・宮坂 1・2 丁目町会は、75歳以上の方の個別訪問(敬老金)を継続してコミュニケーションをとる。

- ・桜丘の3町会では防災マップを一緒に作成し、情報を共有、活用していく。
- ・桜丘南町会では独自の防災マップ作成を検討する。
- ・NPO 世田谷桜丘まちづくりでは、災害時ミニFMで情報を発信する。
- ・桜丘の3町会は、新しく住宅が開発される地区やマンションの販売会社に町会加入促進の協力を求める。
- ・桜丘地区ではウォークラリー等のイベントで子育て世代に防災訓練をPRしていく。

課題3 逃げなくてもいい安全なまちをつくるために

■現状(意見)

○スタンドパイプや可搬式D型消防ポンプの増設

- ・経堂駅の北側は火災が延焼すると北の方面に行けなくなるため、初期消火が非常に大切になる。
- ・延焼を遮断するためのまちづくりが必要。
- ・住宅密集地区は火災が発生すると広がりやすいという危険性がある。
- ・発災後の丁寧なシミュレーションが必要。
- ・スタンドパイプや可搬式D型消防ポンプ操作訓練を定期的に行っているが、一部の固定化したメンバーしか参加していない。
- ・24時間開いており、若い従業員の多いコンビニエンスストアと連携していきたい。災害に備えてスタンドパイプなど初期に使う資機材を設置できるとよい。

○狭い道路等の問題

- ・狭い道路が点在している。
- ・烏山川緑道付近は地盤が弱い。
- ・宮の坂駅付近の崖くずれが怖い。

○区の施設等の有効利用

- ・区の施設、設備、土地を有効利用する。スタンドパイプの設置場所等区の施設、設備が有効利用されていない。
- ・避難所となる学校のキャパシティ不足
- ・私学の用地の活用・協力を依頼したい。
- ・給水所が不足している。
- ・災害時に小田急線が運休してしまった際、駅利用者の対応の必要がでてくる。
- ・マンションの空地に防災倉庫を置けないか。

■地区としての取組みの方向性

- ・消火栓や街路消火器、スタンドパイプの不足を感じるため、増やすことを働きかける。
- ・スタンドパイプや可搬式D型消防ポンプは、水は使わずセットする訓練等方法を工夫して訓練回数を増やす。
- ・地区内の施設・私立学校・企業等への災害時の協力を依頼する。
- ・自宅避難を推奨し、避難所との付き合い方をPRする。

■各団体の今後の取組みの方向性

- ・経堂北町会と宮坂3丁目町会は、街路消火器等消火設備を増やし、火災の延焼を遮断するためのまちづくりを進める。
- ・経堂南町会は可搬式D型消防ポンプ操作訓練を今後も毎月実施する。
- ・経堂南町会は防災訓練に参加する人を増やす工夫をしていく。
- ・宮坂1・2丁目町会は、スタンドパイプの増設と設置場所を探す。
- ・桜丘1丁目町会は大規模災害を想定し、町会内3か所で同時に消火器とスタンドパイプを操作する訓練を今後も実施していく。
- ・桜丘南町会は、今後も宇山神社で防災訓練を実施していく。
- ・東京農業大学は、大学周辺町会及び商店街の防災訓練に協力、支援をしていくとともに、大学内での学生対象の普通救命講習会を継続していく。
- ・桜丘地区では、自宅避難と1週間分の食料備蓄を推奨し、物資支援等避難所との付き合い方をPRしていく。
- ・桜丘町会では、引き続き、誰でも利用できるようスタンドパイプの公園等、公共の場への設置を進めていく。